

深深

この地に根ざし、生きる
しんしん
4号
2022.Spring

「想定外」をしなやかに
一步踏み出し、新たな世界へ。

思いもよらぬ出会いや出来事。
受け止めて「今、出来ること」に力を注ぐ、
関東から移住しゲストハウスを営むご夫婦と、
祖父の洋館を継ぐカフェオーナーに
話を伺いました。

Case 01 ポストイン
[天川村] ゲストハウス POST INN

Case 02 ツムグ
[御所市] カフェ Tsumugu



奈良・奥大和



「MIND TRAIL 奥大和 心のなかの美術館」2021年 クロージングイベント風景

奥大和に魅せられた人々が
生み出す新たなムーブメント。
手つかずの森、長い歴史に培われた文化、
暮らしの中に息づく「生きる知恵」…。
そんな奥大和の魅力に魅せられて、
全国からアーティストやクリエイターが集まっています。
彼らが奥大和でインスピレーションを得て
この地を発信の場とすることで、
「まち」と「むら」が緩やかにつながり
互いに影響しあう新たな関係性が生まれています。
アートイベントの開催やデザインスクールの開校、
ワークショップ誘致などの取り組みは、
新しい生き方や働き方を求める人たちを惹きつけて、
今、奥大和は面白い「コト」が生まれる空気に満ちています。

奥大和移住定住交流センター
engawa 奥大和移住定住交流センター「engawa」

地方と都会、若者と大人、移住者と奥大和地域の方々など、いろいろな場所とひとを繋ぐ「engawa」は、奥大和の木工品や家具、特産品などの展示販売のほか、Wi-Fi完備のコワーキングスペース、打ち合わせスペースとして、誰でも利用可能なオープンスペースです。併設の相談窓口は、奥大和での生活や就業、空き家についてなど移住についてのタイムリーな情報が集まっています。

〒605-5 橿原市常盤町 0744-48-3019 [時間]9時30分～18時 [休日]土・日曜、祝日、年末年始

発行・問合せ：
奥大和移住・定住連携協議会
(事務局：
奈良県奥大和移住・交流推進室
☎ 0744-48-3016)

Local Life
in Nara Okuyamato

奥大和移住・定住連携協議会は、奈良県と奥大和地域19市町村で構成されています。

本紙は、奥大和地域に暮らしているの方々に向け、地域で活躍する人やその暮らし、営みなどを紹介し、自らが住む地域の魅力を実感していただくために発行しています。

①農村地域の一角にある店舗。洋風の外観が不思議と周囲になじむ ②ヤギのシロはお店のアイドル。カフェの前にある小屋でのんびり ③手作りパウンドケーキなどのスイーツや、ハンバーグ(限定10食)などランチも数種類がある ④店内には近隣の農家から仕入れた新鮮野菜のマルシェコーナーがある



アンティークな雰囲気の店内。時を重ねた本物が持つ重厚な空気が漂う

ランプやテーブルは100年以上前の貴重な骨とう品



受け継いだ想いを次世代へ新たに紡いでいく物語。

御所市 麻島淑示さん

Case 02

御所市
カフェ
ツムグ
Tsumugu

金剛山や葛城山の裾野に広がる御所市。その豊かな田園風景の中にある「Tsumugu」は、大きな窓が目印のモダンなカフェです。「この建物は、もとは祖父が建てた洋館でした」と語るのはオーナーの麻島淑示さん。かつて幼少時代を過ごした村にあり、長い間空き家だったものを改装したそうです。短大卒業後に実家を離れ、勤めたカフェで接客やお店づくりに開眼したという麻島さん。もっとカフェのことを学びたいと、ワーキングホリデーで滞在したオーストラリアでコロナ禍に見舞われました。都市がロックダウンされ、決まっていた仕事も失い、着の身着のまま帰国することに。失意の中でしたが「人生何があるかわからんから、やりたいことをやろう!」と一念発起。自らカフェを創ることを決意しました。同じタイミングで曾祖父が興したレース会社の事務所解体が決まったこともあり、祖父や曾祖父が残したものを次世代に伝えたいという思いから、店のコンセプトを固めたそうです。もとの建物の構造を活かしつつ、事務所にあった古い家具や建具を使い、大工さんの隣で所々DIYで改装をすすめ2021年5月に店をオープンしました。「とにかく今は毎日必死です」と麻島さん。応援してくれた家族や友人、町の人々との繋がりに感謝しながら過ごす日々は、忙しいながらも充実しています。「今後は御所市の新しい歴史を紡いでいけるよう、地域活性につながるイベントなどもやっていきたいです」と語ってくれました。



レトロでかわいいレース生地です!

麻島さんの暮らしのこだわり

「曾祖父から受け継いだレース生地をお店の随所に使っています」と麻島さん。大きなテーブルクロスを始めとしたレトロでかわいいレース生地が、店の雰囲気の決め手です。

ツムグ カフェ Tsumugu

〒 奈良県御所市朝町 83
☎ 0745-49-0408
HP <https://kashihara.mycl.net/shop/00000364826/>
@tsumugu.nara

奈良・奥大和「想定外」をしなやかに一步踏み出し、新たな世界へ。

日本有数の秘境とも言われる天川村。洞川温泉や天河大辨財天社からも近い場所に「ゲストハウス POST INN」があります。元は郵便局だった建物を改装した宿で、2020年7月にオープンしました。営むのは、関東から移住した三原さん夫妻です。夫の惇太郎さんが、サラリーマン時代に「猟師になりたい」と思い立ち、村への移住を決意しました。地域おこし協力隊として、念願だった猟師や大工仕事に従事。数年後に縁あって郵便局の改装の話が舞い込み、ゲストハウス兼カフェ&バーを開くことに。大工仕事の技を活かしてDIYで内装や外装を仕上げ、一昨年のオープンにこぎつけました。「最初、猟師になりたいって聞いたときは驚いたけど、なんとかなるかって思いました」と笑うのは、妻の瑠記さん。子育ての傍ら、カフェでケーキ作りなどを担当しています。昼は瑠記さん、夜は惇太郎さんがメインと担当が分かれています。ちょうどよい夫婦の距離感が保てているそう。都会で働いていた頃よりもずっと会話が増えました、と笑顔で話してくれました。宿にはコロナ禍にもかかわらず多くの人が足を運び、オープンからの来客数は500人を超えたそう。「バーでお客さん同士が仲良くなって、後日二人で再訪してくれたのが思い出深いです」と惇太郎さん。今後はライブや移住者向けのイベントなども開催していくそう。旅人たちの出会いや憩いの場として、どんな展開をみせるのが楽しみます。



①木の温もりを感じるカフェ&バーはDIYとは思えない完成度 ②地元の名水「ごろごろ水」で淹れる自家焙煎のコーヒー。すっきりした味わい ③大学時代に知り合ったという三原さん夫妻。表情に仲の良さがにじむ



Case 01

天川村
ゲストハウス
ポスト イン
POST INN

思いつきからスタートした、夫婦で創る「旅人の憩い場」。

天川村 三原惇太郎さん 瑠記さん

ポスト イン ゲストハウス POST INN

〒 奈良県吉野郡天川村川合 273-2
☎ 070-4001-5076
HP <https://postinn.jp>
@post.inn.tenkawa
@post_inn_tenkawa



ディテールに力を入れています!

三原さんの暮らしのこだわり

「このヘリンボーンの床は、実は相当難易度高いんですよ」と惇太郎さん。地域おこし協力隊時代に身につけた細やかな大工仕事のスキルが、内装や外装に活かされています。